

「対象：父と母」

—初稿—

2026/8/15

米俵

〈人物表〉

石田 武志^{たけし}
(30)
元・自衛官

石田 正文^{まさみ}
(66)
武志の父親

石田 和子^{かずこ}
(54)
武志の母親

1. 石田家・外観（昼）

山間部。自然の中にポツンと立つ一軒家。
静寂。

2. 石田家・玄関・外（昼）

ドアがゆっくりと開く。

石田正文（66）、そーっと顔を出す。

辺りを確認。誰もいない。

正文、一歩踏み出す。何もなし。

安心した様子で二歩目を踏み出す。

その瞬間、足元でパンという音。

正文、足元を見る。

地面に穴があいている。

正文、溜息。

腰につけていた小型無線機をとって、

正文 「……武志」

武志の声「父さん、どこ行くの」

正文 「買い物に」

武志の声「昨日、買ってきてあげた」

正文 「……散歩でもと思つて」

武志の声「昨日、70代の歩行者が交通事故にあった」

正文 「俺はまだ60代だよ」

武志の声「ほぼ変わらない」

正文 「あと4年あるわ」

と、車へ走り出す。

パン、と音がする。

車のタイヤに穴が開き、空気が抜ける。

正文 「お前、何してんだ！」

武志の声「外はもっと危ない」

正文、車のタイヤを確認して肩を落とす。

武志の声「早く家に入って」

正文、家に戻りながら、

正文 「お前、どうかしてるぞ」

石田家・リビング（夜）

射撃の賞のトロフィーや盾がいくつも飾ってある。

食卓の一方に、石田武志（30）。その向かいに

正文と石田和子（54）が並んで座っている。

正文と和子、頭を下げて、

正文 「頼む。結婚30周年なんだ」

和子 「佐原なら、ここから1時間ぐらいでしょ？」

武志 「……ダメだ」

正文 「何が？」

武志 「バス」

正文 「バスなら他のお客さんもいるし……な？」

和子、同意するようにうなづく。

武志 「バスジャック」

和子 「じゃあ、電車。電車なら大丈夫でしょ？ ね？」

正文、和子に促されるようにうなづく。

武志 「脱線事故」

正文 「俺たち、結婚記念日も祝えないのか？」

和子、悲しそうな顔。

武志 「……」

正文 「車ならいいか？」

和子 「でも、ほら……」

正文 「ああ、そうだ。タイヤか」

と、武志を見る。

武志 「代わりを用意する」

正文 「お前の車で行くってことか？」

和子、急に甘えた声で、

和子 「やだー。車ならパパと2人がいい……」

正文、和子を見て笑顔。

武志、眉間に皺をよせて、

武志 「2人で行けばいい」

和子 「本当？」

正文 「いいのか？」

武志 「俺は、後ろからついていく」

正文・和子 「……」

武志 「何かあればすぐに対応できる」
和子 「いつもそうしてくれば、買い物も行けるのに」
武志 「俺の神経がもたない。今回だけだ」
と、部屋を出ていく。
正文と和子、顔を見合わせる。

4. 正文と和子の車・車内（朝）

正文が運転。車はすでに高速を走っている。
後方には武志が乗る車。
小型無線機から、
武志の声 「まもなく合流地点。気を付けて」
正文 「分かってる」
武志の声 「左、バイク」
正文 「見えてる」
和子 「武志、少しだけ2人にして……」
と、和子が小型無線機の電源を切ろうとする。
武志の声 「それ、切れないから」
和子 「見えてるの？」
武志の声 「特殊加工してある」
和子、大きな溜息。

5. 武志の車・車内（朝）

特殊なボタンや画面が並ぶ車。
武志 「次のSAはダメだ。その次で」
武志、画面を確認する。
その瞬間、一台の車が武志の前に割り込む。
割り込んだ車が突然減速する。
武志、ぶつかりそうになり、慌てて減速。
武志 「父さん、減速して」
武志、車線変更する。
妨害車も武志の前を小さくように車線変更する。

6. 正文と和子の車・車内（朝）

和子、後ろを振り返って、

和子 「ねえ、後ろ……なんか変じゃない？」

正文、バックミラーで確認。

武志の車の行く手を阻む車。

正文 「なんだ？ あの車」

和子、小型無線機をバッグの奥にしまう。

和子 「パパ、今！ 行っちゃって」

正文 「え？ 今？」

和子 「はやく！」

正文、アクセルを踏む。

車が加速する。

和子、後方を確認して、

和子 「行ける、行ける！」

正文、笑顔。

更にアクセルを踏み込む。

7. 武志の車・車内（朝）

画面上のリーダーが、正文たちの車がどんどん離れていくのを示す。

前の車を見据える。

妨害車、蛇行運転をしている。

武志、ダッシュボードの中のボタンを押す。

8. 高速道路（朝）

車体前方から特殊な粘着剤が発射される。

妨害車のタイヤに絡みつく。

妨害車、大きく蛇行。

運転手、必死にハンドルを切り、路肩へ。

側壁すれすれで停車。

9. 武志の車・車内（朝）

武志、運転手の無事を横目で確認。

アクセルを踏み込む。

小型無線機から、かすかに声が聞こえてくる。

和子の声 「……パスポートは？」

正文の声「ちゃんとある」

武志、目を見開く。

武志 「……」

正文の声「まだ着いてもないぞ」

浮かれた声で、

和子の声「アロ〜ハ〜」

武志、顔をしかめる。

ボタンを押す。

正文たちの車の予測ルートが表示される。

(画面) 予測目的地：成田空港

武志、画面を操作。

(画面) 「到着予測：3分遅れ」

10. 高速道路（朝）

武志の車、急加速。先行車を次々と追い越していく。

11. 成田空港・出発ロビー（朝）

大勢の旅行客で賑わっている。

アロハシャツに着替えた正文と和子、キャリーケー

スを引いて歩いている。

和子 「間に合ったー」

正文 「あの車、救世主だったな」

和子 「そうだ、これも置いてこ」

と、観葉植物の鉢のかげに小型無線機を隠す。

2人、嬉しそうに歩いていく。

12. 空港入口（朝）

武志の車が急停車。

武志、ロビーへ駆け出す。

13. 成田空港・ロビー（朝）

武志、遠くに2人を発見。

武志 「父さん、母さん！」

正文と和子、振り返る。

正文 「……来た」

和子 「パパ、走って!」

2人、走っていく。

武志、それを追いかける。

和子 「パパ、あれ」

と、動く歩道を指す。

2人、その上を全力疾走。

正文が振り返る。

正文 「あいつ、速すぎる」

武志、動く歩道は使わずに走っている。

どんどん2人との距離が縮まる。

武志 「父さん、走ると転ぶよ」

正文 「じゃあ、お前が止まれ」

和子 「パパ、いいから。前だけ見て」

武志 「山で滑落しただろ」

正文 「20年前だ」

和子 「あれ、乗って!」

14.

成田空港・エレベーター前（朝）

正文と和子、エレベーターへ駆け込む。

和子 「早く、早く」

と、閉ボタンを連打。

武志が走ってくる。

武志 「エレベーターにも危険が」

正文 「大丈夫だ。その確率は低い」

武志の目の前でドアが閉まる。

15.

成田空港・エレベーター内（朝）

正文と和子、顔を見合わせる。

和子 「やった!」

正文、息を切らしながら、

正文 「死ぬ……」

和子 「ハワイに着いてからにして」

正文、驚いた顔。

和子、闘争心あふれた表情。

16. 成田空港・通路（朝）

武志、エスカレーターを駆け上がっていく。

武志 「すみません、すみません」

武志の前に大きな荷物を持った団体客。

武志、上を見る。

走っていく正文と和子。

武志、手すりを飛び越え、脇の階段へ移動する。

駆け上がる。

× × ×

正文と和子の前方に保安検査場。

和子 「パパ、あそこ！」

正文 「もう無理……」

和子 「あとちょっと！」

武志、階段を駆け上がってくる。

武志 「向こうの危険エリアの確認は？」

正文、振り返る。

正文 「武志、俺たちは大丈夫だ」

2人、保安検査場へ入る。

武志、追って入ろうとする。

係員 「お客様、搭乗券を」

正文・和子、大きく手を振る。

武志、2人を見つめる。

17. ハワイ・ホテル前のビーチ（昼）

正文と和子、ビーチチェアに寝そべっている。

和子、日焼け止めを塗る。

ふと、バッグの上の小型無線機に気付く。

和子 「……パパ、これどうしたの？」

正文 「え？」

和子 「これ」

正文の顔が固まる。

小型無線機からの声。

武志の声「母ちゃん、それSPF50+、PA+++だよね。」

和子「……」

武志の声「父さんもちゃんと塗って。そこ、日差し強いよ」

正文と和子、周囲を見回す。

正文の足元に、大型のムカデが這ってくる。

パンという音。

大型のムカデが動かなくなっている。

正文「来てるな……」

和子「信じられない……」

2人、遠くを見る。

終わり